

機器利用技術講習会のご案内

【フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)】

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技术・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成26年 9月25日(木) ① 9:45～ ② 13:45～
各コース(①、②)の講習時間は約2時間です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所(和泉市あゆみ野2-7-1)
当日は、講習開始時刻までに当研究所の玄関ホール講習会受付にて、受付をお済ませください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース(①、②)とも5名(1社1名まで)。
※ 受講票は発行しません。
※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます(無料)。
※ 同一企業(事業所)の2回以上の受講はお断りします。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課
※ お申し込みはメール(fukyu@tri-osaka.jp)またはFAX(0725-51-2509)でお願いします。
メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)

赤外分光法は、測定対象の物質(試料)に赤外線を照射し、透過(あるいは反射)光を分光することでスペクトルを得て、試料の特性(分子構造や状態)を知る方法です。このスペクトルを得るために、フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)がよく用いられ、油料、プラスチック、ゴム、繊維、塗料、農薬、医薬品などの有機化合物(および一部の無機化合物)の評価には不可欠となっています。

微小領域($\sim \mu\text{m}$ レベル)の測定が可能な顕微FT-IRは、製品の品質管理(異物分析や劣化状態)に用いられ、また、本装置の高速測定モードの利用により、製品開発において必要な化学反応の進行状態が評価できます。さらに、本装置搭載のイメージング検出器の利用により、試料の広範囲にわたるスペクトル情報が高速で得られ、特徴的な官能基を評価することで、試料中に含まれる複数化合物の分布の可視化が可能となります。

本講習会では、装置の概要(装置構成、仕様、測定モードなど)について簡単に説明した後、異物分析などでよく用いられる顕微ATR法、イメージング測定などの測定モードについての実習を行います。

◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所
繊維・高分子科 主任研究員 日置 亜也子
・お問い合わせ先：顧客サービス課 (TEL：0725-51-2518)

